

2020年3月11日

## 東日本大震災から9年を迎えて【談話】

サービス・ツーリズム産業労働組合連合会  
事務局長 石川 聡一郎

東日本大震災の発生から、本日で9年を迎えました。

いまだ2,529人が行方不明であり、約47,000人余もの人が避難生活を余儀なくされています。

あの日の出来事は、年数を重ねても容易に忘れることはありません。

いま国会では、復興庁設置法等の一部を改正する法律案が提出され、審議される予定ですが、被災地に、そして被災された皆さんに寄り添った復興が求められます。

被災地には、外国人旅行者をはじめ多くのかたが観光に訪れるようになりました。

サービス・ツーリズム産業は、平和産業として産業の振興をつうじ、被災地の復興の一翼を担っていきたいと思います。

ここ数年、日本はたびたび自然災害の脅威にさらされています。25年前の阪神淡路大震災をはじめ、復興にむけては、風化させない取り組みが必要となります。

困難なときこそ、私たちは産業の存在意義を問い直す機会です。観光産業の振興をつうじ、人々の交流を生み出し、日本全国に笑顔を届けることで、復興の一助になればと願います。

以 上



**サービス・ツーリズム産業労働組合連合会(サービス連合)**

〒160-0002 東京都新宿区四谷坂町9-6 坂町Mビル2階

Tel:03-5919-3261 Fax:03-5919-3264 URL:<http://www.net-stu.com>